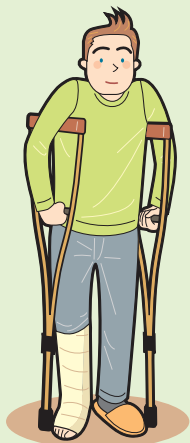


ギプスと上手に 付き合いましょう。



✓ ギプス固定の目的とは？

ギプスは骨折時や靭帯などが損傷を受けたときに、患部が動かないように安静を保ち、痛みを緩和するために一定期間固定しておくものです。また、外部からの刺激などから患部を保護します。



重要！



以下の症状があらわれたら、
すぐに医師に連絡してください。

- ギプスを巻いている部分が締め付けられるような痛みやしびれを感じる。
- ギプスから出ている部分が、むくんでいる、腫れている。
- ギプスを巻いた部分の手足やギプスから出ている指やつま先が冷たく感じたり、爪の色が白色や紫色になっている。

日常生活の心がけ

ギプスについて

✓ギプス包帯

包帯のような形状で骨折した部位に巻き付けるとそのまま固まるのでしっかりと固定できます。



✓副木・ギプスシーネ

骨折した部位にあてがいたい体の形状になじませて包帯で固定し安定させます。ギプスシーネ、副木などと呼ばれ、ギプス包帯を折り重ねて硬化させるものやスポンジの中に針金の芯が入ったものなどがあります。



ギプスを巻いている部位はできるだけ高く上げておくよう心がけましょう。

血液の流れを良くすることでむくみを軽減します。

※寝ているときも枕やクッションなどを使って高く上げておきましょう。



ギプスが巻かれていない部分は常に動かすように心がけましょう。

動かしたほうが関節の拘縮や筋肉の萎縮が予防され、血液の流れが良くなります。動かす範囲や、動かすことで痛みが生じる場合は医師に相談してください。

ギプスを巻いている部分にかゆみなどの不快感が出ることがあります。

ギプスと皮膚の隙間から物を差し込んで掻くなど皮膚を傷つけるおそれのある行為は避けましょう。

※かゆみなどの不快感が出た場合は医師に相談してください。



日常生活での注意点

ギプスが割れるような強い衝撃を与えないようにしましょう。

もし破損してしまった場合はすぐに医師に連絡をしてください。



ギプスシーネを使用している場合は、医師の指示なく取り外さないようにしましょう。



ギプスは濡らさないようにしましょう。

入浴時はギプスの上にタオルを巻き、さらに、ビニール袋やシャワーの水濡れを防ぐ製品などで患部を保護しましょう。

ギプス固定時のサポートグッズのご紹介

ギプス固定時の日常生活の困りごとに寄り添う
サポートグッズのご紹介です。

シャワーの水濡れ防止に。

シャワーでの水濡れから
ギプスや副木を守る
防水カバー。



外出時の汚れ防止に。

足関節をギプス・副木などで
固定した時の水濡れ、汚損の防止に。



1人でも装着が簡単な腕つり。

装着が簡単な腕つり。
安定した患部の保持・保護に。

一般用



子供用



●サポートグッズは医師の指示、指導のもとご利用ください。

ギプス装着に関するお問い合わせや、サポートグッズのご購入については、当院までお問い合わせください。

お問い合わせは当院まで

発行：

日本シグマックス株式会社

本社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1
お客様窓口 TEL.0800-222-6122 (通話料無料)
受付時間：9時～17時(平日) ※土日、祝日、年末年始を除く